



2013 年 11 月 13 日

各 位

東京都東京都港区虎ノ門 4-1-28
日本通信株式会社
代表取締役社長 三田 聖二
(コード番号: 9424)
問合せ先 代表取締役副社長 福田 尚久
電話 03-5776-1700

日本通信、MVNO の価格競争に終止符を打つ、フリーData -MVNO としての真骨頂にむけて-

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、MVNO 産業の真の成長を牽引するために、音声の基本料のみでデータ通信は無料のスマホ電話 SIM を投入し、市場の価格競争に終止符を打ちます。

当社は創業以来、PHS データカード、USB ドングル、モバイル WiFi ルーターといった革新的な通信サービスを次々と市場に紹介してきました。MVNO 協議会会長会社として MVNO 事業への新規参入を歓迎・支援し、総務省調査によれば MVNO の数は 354 社（2013 年 3 月末）にのぼっています。2010 年には日本で初めて、SIM を製品化。翌年にはコストを削減して提供開始した 980 円 SIM に MVNO 各社がならうかたちで低価格の定額データ SIM が普及しました。他 MVNO は、データ通信のみを利用するセグメント 1,200 万人に対し、当社サービスをベースに、価格競争を繰り広げています（参照：図右下）。

しかし、通話を利用するセグメントに目を転じれば、スマートフォンを電話として利用しているユーザーは 5,100 万人にのぼり、当社はここに対し音声の基本料のみでデータは無料のスマホ電話 SIM

を提供します。また、携帯電話の利用者 6,800 万人に対しても、携帯電話 SIM を提供します。



当社に追随したサービスの価格競争に終始する今日の MVNO 市場は、本来の MVNO の姿、すなわち、キャリアがやっていない、又はやりたくないサービスを提供する MVNO の姿ではありません。SIM だけを見ても 10 倍の未開拓市場があり、ここに対し、MVNO 各社がクリエイティブにサービスを企画し提供することこそが MVNO の真骨頂だからです。データ SIM 普及の起爆剤となった低速定額データサービスですが、今後は無料で提供することで、安易な価格競争に終止符を打ちます。

当社の創業者であり代表取締役社長三田聖二は次のように述べています。

「日本通信の創業で始まった MVNO は、18 年でひとつの業界に成長しました。しかし、MVNO 各社の価格一辺倒の競争は感心できません。当社がコストを削減して実現した低価格を表面的にまねて、価格以外のところでのクリエイティブな競争がないからです。この自滅方向の現状に歯止めをかけるため、低速データを無料にします。無料には、価格競争できないからです。」

■日本通信について

1996 年 5 月 24 日、日本通信は新たなモバイルサービス事業のあり方を提示するため生まれました。それから 13 年の歳月を経て、2009 年 3 月、NTT ドコモとの相互接続により「MSO 事業モデル」を完成させました。総務省の携帯市場のオープン政策のもと、メーカー、流通、ソフトウェア・デベロッパーの皆さまがキャリアに依存することなくビジネス展開ができるよう、パートナー企業の皆さまのビジネス形態に合わせて携帯通信を最適化しご提供しています。ネットワークを効率的に運用する当社独自の先端技術やリアルタイムの認証技術などによって、ユニークな通信サービスをつくりだしております。自社 b-mobile ブランド製品をお客さまに提供する MVNO 事業、及びメーカーやインテグレータ他のパートナー企業に提供する MVNE 事業を展開しています。

MSO=Mobile Service Operator

※文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

※記載されている内容は、発表日時点の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。